

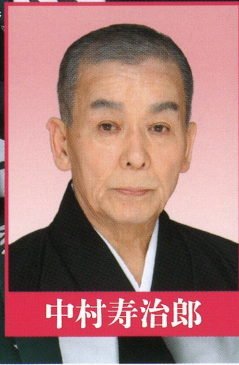
松竹大歌舞伎

二、汐しお
 一、玩辞楼つち
 十画の内
 土屋主税ちから
 渡辺霞亭作
 一、幕二場
 長唄囃子連中

中村鴈治郎

上村吉弥

中村亀鶴



中村寿治郎



上村吉太朗



嵐橋三郎

9月12日[火]

●昼の部 14時00分開演
 16時05分終演予定
 ●夜の部 18時30分開演
 20時35分終演予定 ※開場は各部ともに45分前

観劇の強い味方
イヤホンガイド
 舞台の進行にあわせて
 衣装・音楽・道具など
 分かりやすく解説します
 ※使用料: 800円

●入場料=昼の部 SS指定席 13,000円 S指定席 10,000円 A指定席 7,000円
 夜の部 SS指定席 10,000円 S指定席 8,000円 A指定席 5,000円
 ※昼夜ともに公演内容は同じです。未就学児入場、同伴不可。

あわぎんホール 1階ホール
 (徳島県郷土文化会館)

主催
 公益財団法人 徳島県文化振興財団
 四国放送 株式会社
 一般社団法人 徳島新聞社

【お問い合わせ】あわぎんホール ☎088-622-8121 ✉jigyo@kyoubun.or.jp

●チケット発売日

先行販売 5月31日(水) 10:00~

WEB限定(あわぎんホールチケット会員のみ)となります。
 チケット会員(無料)の登録はこちら → <https://kyoubun.or.jp/ticket.html>

一般販売 6月7日(水) 10:00~

各プレイガイドにて同時販売 ホール電話受付(9:00~17:00)は翌日から

●プレイガイド

- あわぎんホール(インターネット・電話・窓口)
- 徳島新聞社事業部(徳島新聞各販売店でも取り次ぎます。平日9:30~17:30)
- チケットWeb松竹(24時間受付)

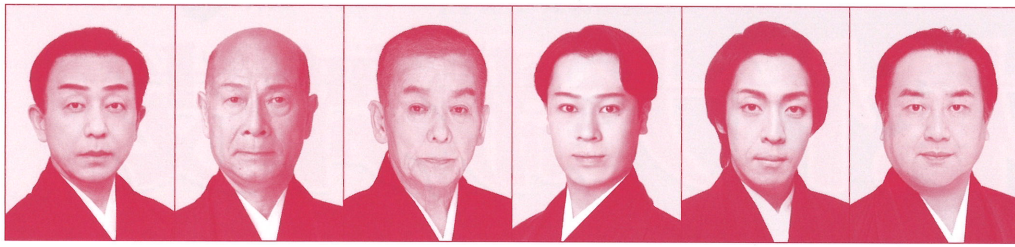
チケットWeb松竹 徳島

阿波銀行
 阿波銀行は徳島県の文化振興を応援しています

松竹大歌舞伎

令和五年度
（公社）全国公立文化施設協会 主催
西コース

製作
松竹



かみむらきちや 上村吉弥
あらしきつさぶろう 嵐橋三郎
なかむらじゅうじろう 中村寿治郎
かみむらきち たろう 上村吉太郎
なかむら きかく 中村亀鶴
なかむらがんじろう 中村鴈治郎

一、玩辞楼十二曲の内 土屋主税

渡辺霞亭 作

一幕二場

土屋主税
大高源吾
お高源
西川頼母
晋其角

中村鴈治郎
中村吉太郎
上村寿治郎
中村吉
嵐橋三郎

赤穂浪士の一人である大高源吾が、西国の大名家へ仕官することが決まったと俳諧師の其角の家に別れの挨拶にやってくる。其角は饒別として「年の瀬や水の流れも人の身も」という句を贈り、源吾はそれに「あした待たるるその宝船」と附け句をしてその場を立ち去ります。其角は、源吾が附けた下句は仕官を喜んだ句であると考え、亡君への恩を忘れたのかと源吾の変節に立腹しますが、この一件を聞いた土屋主税は、討ち入りを暗示した句であると読み解きます。やがて隣家の吉良邸内から刃を交える音が聞こえてくると、主税は喜び、要所に高張提灯を灯させて、陰ながら浪士たちを援助するのでした。

明治四十（一九〇七）年十月に大阪の角座で初演された、渡辺霞亭作の忠臣蔵の外伝物。俳諧を巧みに織り交ぜながら、討ち入りを待ち望む主税の心情を描いた、上方歌舞伎の代表的な名跡である中村鴈治郎家のお家芸「玩辞楼十二曲」の一つに数えられる名作です。

二、汐汲

蜚女薺藻
此兵衛

上村吉弥
中村亀鶴

汲

長唄囃子連中

時は平安時代。帝の逆鱗に触れ、須磨に流された在原行平は、松風と村雨という姉妹の蜚女を寵愛し、帝に罪を赦され都へ戻る際に自らの烏帽子と狩衣を形見として与えました。その浜辺にやって来た蜚女の薺藻は、汐汲桶に映る月影に、会うことの叶わない恋人への思いを馳せて舞を舞い始めます。そこへ、薺藻に思いを寄せる漁師の此兵衛が現れますが、薺藻は此兵衛をあしらいながら去っていくのでした。

女方の舞踊の中でも屈指の人気曲のひとつであるこの作品は、在原行平が土地の蜚女と歌を交わしたという説話を基に、「古今和歌集」の行平が詠んだ短歌などが影響を及ぼして生まれた謡曲の「松風」が題材になっています。松風は幽玄能の中でも屈指の名作で、歌舞伎や浄瑠璃に大きな影響を与え、それらの作品の素材ともなりました。今回の「汐汲」もそのひとつで、薺藻の悲しくもまた初心な恋心や、此兵衛との駆け引きを舞踊仕立てで描き出しています。古風な情緒溢れる歌舞伎舞踊をじっくりとお楽しみください。

◆公演日程 ※公文協主催公演

- ※ 8/31 木 神奈川県横浜須賀野市 よこすか芸術劇場
- 9/1 金 神奈川県横浜市 桐蔭学園シンフォニーホール
- ※ 3 日 福島県いわき市 いわき芸術文化交流館アリオス
- ※ 5 火 静岡県浜松市 アクティシティ浜松
- ※ 6 水 三重県津市 三重県文化会館
- ※ 7 木 大阪府岸和田市 南海浪切ホール(岸和田市立浪切ホール)

- ※ 9 土 広島県呉市 呉信用金庫ホール
- ※ 10 日 島根県益田市 島根県芸術文化センター「グラントワ」
- ※ 11 月 香川県丸亀市 丸亀市綾歌総合文化会館(アイレックス)
- ※ 12 火 徳島県徳島市 あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)
- ※ 14 木 神奈川県藤沢市 藤沢市民会館
- ※ 15 金 東京都板橋区 板橋区立文化会館 大ホール

- ※ 16 土 神奈川県相模原市 相模女子大学グリーンホール
- ※ 18 月 岐阜県岐阜市 岐阜市民会館
- 20 水 岡山県岡山市 岡山芸術創造劇場ハレノワ
- ※ 21 木 大分県佐伯市 さいき城山桜ホール
- ※ 24 日 沖縄県那覇市 那覇文化芸術劇場なはーと